

科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日	科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日
経済開発論 I	<春>		ECON2530	月1					

【教員氏名】
望月 和彦

【単位数】
2 単位

【授業形態】
『講義』

【講義・演習概要】

現在の開発途上国はかつて「後進国」と呼ばれていた。これは先進国に対比する呼び名であったわけだが、失礼な名称であることから開発途上国と呼ばれるようになった。30～40年前は開発途上国とは言いながらほとんど発展していないような国がたくさんあった。ところが今日、経済発展は多くの国で見られるようになっており、開発途上諸国はまさに開発途上にある。本講では経済発展の要因、経済発展の現状、経済発展の将来について考える。

【学習（到達）目標】

本学の教育の目標である「世界の市民の養成」に則り、経済発展の事例を広く探究することを通して世界の市民にふさわしい知識と判断力を涵養する。

【講義・演習計画】

- 第1回：導入 本講の基本的な考え方 科学的思考とは何か
- 第2回：経済発展とは
- 第3回：経済発展の要因 その1 お金
- 第4回：経済発展の要因 その2 資源
- 第5回：経済発展の要因 その3 資本・技術
- 第6回：経済発展の要因 その4 制度 社会主義
- 第7回：経済発展の要因 その5 制度 資本主義
- 第8回：経済発展の要因 その6 制度 政治体制
- 第9回：経済発展の要因 その7 思想
- 第10回：経済発展の要因 その8 所有権・法の支配
- 第11回：経済発展の要因 その9 金融制度
- 第12回：経済発展の要因 その10 企業組織
- 第13回：経済発展の要因 その11 社会秩序
- 第14回：経済発展の要因 その12 社会秩序の形成因
- 第15回：まとめ

【成績評価の方法】

試験評価：70% レポート：30% その他：0%
成績評価は期末テストとレポートで行う。テストでは講義の内容を理解しているかを計るとともに内容から自分で問題を組み立てることができるか、それに自分で適切に答えることができるかを見る。レポートは講義の内容に即したテキストを指定し、その内容についてこちらからの質問に答える形式となる。

【事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 事後学習 30 時間）】

事前学習：授業中に配付するリーディングリストの文献の学習
事後学習：授業内容の復習、レポート作成